



2020年11月27日

非常事態・災害状況においても、子どもの安全を確保し、 すべての子どもに格差なく、質の高い保育を保障するために 保育・学童保育関係予算の大幅増額と施策の拡充を求める請願書

犬山市議会議長
中村 貴文 殿

請願団体 犬山市保育を守る会

請願代表者

住所

氏名



以下2456名
2356

紹介議員

丸山幸治
久世高裕
岡村千里

請願主旨

新型コロナウイルスの感染拡大が社会全体をゆるがしています。なかでも子育て真っ最中の家庭や子どもたちを預かる保育現場は深刻です。学校の休校が続くなかで、基本的に開所を求められた保育・学童保育の現場では、今まで以上に神経をすり減らし感染を防ぎながらの保育を求められてきました。

これまで国により、待機児童解消を名目に規制緩和や基準の切り下げがすすめられ、保育・学童保育の現場では厳しい状況で職員不足も深刻な中、日々一生懸命保育をしてきました。

子どもたちの豊かな育ちを保障するためには、子どもたちが安心して心地よく過ごすことができる環境や部屋の広さ、子どもと職員の人数、豊かな保育内容が大切です。

政府は学校教育に於いて、新型コロナウイルスの感染が収束したあとの新たな学びとして、少人数学級の指導体制について検討しています。

保育・学童保育の現場においても同様に、子どもの大事な命を守り、保育現場で働く職員が生き生きと働き続け、子育て中の保護者が安心して預けられるよう、施設条件など保育環境に関わる基準や職員配置の基準の引き上げを求めます。

これまで、犬山市では、『犬山の子は犬山で守る』保育を大切にしてきました。

どのような状況下においても、仕事と子育ての両立支援策の拡充など必要な措置を講じてください。

取り扱い団体 犬山市保育を守る会 inuyama.hoiku@gmail.com
犬山市職員労働組合 62-4141



請願項目

1. (国、自治体の責任で)非常事態・災害状況でも子どもの安全を確保し、発達を保障する質の高い保育を格差なく実現するために、保育・学童保育の基準を抜本的に引き上げてください。
 - (1) 施設条件など保育環境に関わる基準を引き上げてください。
 - (2) 職員の配置基準を改善し、増員を図ってください。
2. 保育の無償化にあたっては、年齢や所得などの制限を設けず、給食費も含めて保育にかかる経費を対象にするよう国に働きかけてください。
3. 全ての子どもが、年齢にかかわらず希望する時期に安心して保育が受けられるようにしてください。
4. 保育・学童保育職員について、専門職にふさわしい賃金と処遇に改善してください。